

【台湾】新型コロナウイルス流行と対応の状況について

台湾では、2020年12月に約8か月ぶりに域内感染者が発生し、その後病院関係者を中心に十数人の感染者が発生し、接触者の隔離等の措置が取られていましたが、現在では域内感染の状況は再び落ち着きを取り戻しております。そのような状況で一部の感染予防策、渡航制限の緩和が発表されました。

【入境制限の一部緩和】

2月24日中央感染症指揮センターは一時的に停止していた短期ビジネス目的での台湾渡航を一部緩和する措置を実施します。渡航の際には事前に在外の所定窓口でビザの申請をする必要があります。

対象国のうち、感染リスクが低または中低の場合には、隔離期間の短縮措置も再開されます。低リスク国からは5日間、中低リスク国からは7日間となり、最終日に自費検査を受け陰性であれば外出が可能となります。

ただし、入境14日間は行動の記録や、不特定多数との接触は禁止され、また14日経過後のさらに7日間は自主管理が求められます。

【ノービザ滞在の再延長措置について】

2月8日内政部移民署は2020年3月21日以前に台湾に合法的に入国し、滞在期間が180日を超える場合は、30日間の滞在期間延長を発表しました。延長には特段の手続きは不要であり、自動で延長されます。これにより既に台湾にいながら本来の滞在期間が過ぎてしまっていた外国人は、引き続き台湾滞在が可能です。ノービザ延長措置で滞在している日本人は自身がいつまで滞在可能か再度確認することをお勧めします。

フェアコンサルティング台湾

(正緯管理顧問股份有限公司)

台北市松山區民生東路3段128號7樓之1保富金融大樓

電話：+886-2-2717-0318

担当：坂下 (SAKASHITA)

yu.sakashita@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

・感染者・死亡者速報通知(2021年2月26日付)



指揮中心快訊

資料更新日期
2021/02/25

Central Epidemic Command Center (CECC) Press Release

今日新增5例境外移入

國內目前951例(835例境外、77例本土、36例致陸遠訓支隊、2例航空器及1例不明)

5 新增病例	951 累計確診	9 累計死亡	906 解除隔離
------------------	--------------------	------------------	--------------------

今(25)日公布國內新增5例境外移入COVID-19確定病例(案948至952)，均為菲律賓籍女性移工，年齡介於20多歲至30多歲，今年2/3搭乘同班機來臺工作，皆持有搭機前3日內檢驗陰性報告，入境時無症狀，並至集中檢疫所檢疫。

5名個案曾於2/16接受檢疫期滿前採檢，結果皆為陰性，檢疫期滿後由仲介安排至住宿地點自主健康管理，2/23由仲介安排專車接送至醫院自費採檢，因檢出COVID-19陽性，於今日確診(次日再驗5人核驗皆為陰性；另除案951血清抗體IgM及IgG均陽性外，其餘4人皆IgM陰性、IgG陽性)；5人迄今皆無症狀。個案於自主健康管理期間除至醫院採檢外，其他時間均無外出，已掌握專車接觸者共19人，因皆有佩戴口罩，故列為自主健康管理對象。

詳情請參考疾管署2/25新聞稿

中央流行疫情指揮中心 關心您